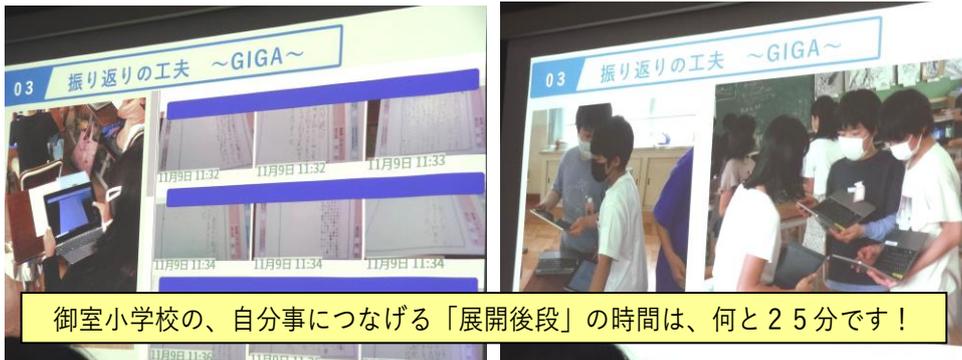


道徳だより

テーマ：「なるほど」がいっぱい！授業力向上実践講座「道徳科」

令和5年6月
京都市立道徳教育研究会
広報部
(第2号)

自己の生き方を深めるためのGIGA端末の活用 ふりかえりに重点を…



御室小学校の、自分事につなげる「展開後段」の時間は、何と25分です！

書いたものを写真に撮り、みんなで共有しました。でも読み流しをする子どもも出てきたので…

タブレットを持ち歩いて交流。自分の考えはもちろん、友だちの考えを話題にして交流する事も可能になりました。

地域のよさや特色を生かした自作教材作成のポイント（児童の実態、挿絵、地域との連携の3つが柱）の紹介もありました。

子どもたちが道徳的な問題を 『自分事』として考える授業展開の工夫

児童が「自分事」として考えるために、特に「めあて」と「中心発問」に注目をし、グループで話し合いました。

柱にする道徳的価値は？

- 正直だとすっきりして気持ちがいい
- 自分を偽らないことのよさに気がつく
- 嘘やごまかしは自分自身を偽ることにつながる など

授業を貫く大黒柱！

- 児童の「生き方」を見つめられるもの
- 共通解→納得解へ向かっていく
- 「自分事」として思考をスタートさせる
- …ための「めあて」に！



グループで考え合った発問がこちら

- 勝っているのに、涙を流したのはなぜだろう。
- 新次の心は、どんな色だろう。（色を変えるには、どうすればいいだろう。）
- どんな心をもって、生活したいかな？ 等々

道徳的価値の理解
解説「内容項目の概要」

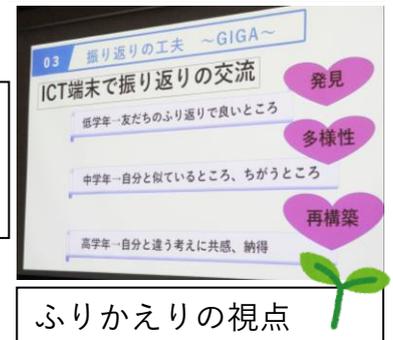
めあての設定
自分事として思考するために

中心発問の精選
後悔からくる正直の大切さを考えさせるために…

今回検討した「新次としょうぎ」は、8月2日の授業実践力向上講座の模擬授業で実践提案されます。



京都市立御室小学校
大平 龍之介 教諭



ふりかえりの視点 



総合教育センター
岸本 知可 指導主事